



2026年5月

活動の足跡

近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R8年5月度:定例会「鳴海3砦&弥生の丘探訪」

R8年5月12日(火) 9:30 ~ 13:30

☆行程 みどり市民病院前(9:30)
みどり市民病院前～砦公園(善照寺砦跡)～圓龍寺～丹下砦跡・弥生の丘

初参加の方に「今日はどうでしたか?」と尋ねたところ、「50年鳴海に住んでいるがこんな場所があるとは知らなかった!」新しい発見があり、驚きました!…との感想をいただきました。
まさに、当同好会活動の目指している目的に合致した返答のように思います。
多くの人と楽しい時間を過ごしなが、地元の歴史と魅力を再発見する活動…このようなスタンスで 輪・和・笑を大切にしながら続けていきたいと思ひます。 (27名参加:内39期新規入会者5名)



鳴海3砦&弥生の丘探訪

丹下砦・善照寺は、鳴海城(今川方)を封じ込めるための「監視・攻撃」の拠点。
・善照寺砦は、信長が鳴海城へ圧力をかけるための中心拠点でした。今川義元が桶狭間に陣を構えたとの報を受けた信長は、この砦に入って軍議を重ねたとされています。実際の地に立つと、その運命を賭けた「戦いの舞台」への想像が膨らみます。



・圓龍寺の歴史は約900年前まで遡ります。(天台宗→浄土真宗へ改宗)
桶狭間の合戦当時の圓龍寺(当時の善正寺)は、織田方の「善照寺砦」として利用されており、激しい戦火にさらされました。焼失したお寺は場所を転々としたが、江戸時代に現在の場所(かつて「花井屋敷」と呼ばれた地)に落ち着きました。本尊である秘仏・薬師如来が安置されている台座が「円い竜の形(竜座)」をしていたことにちなみ、現在の「圓龍寺」へと改名されました。
本日は山田住職から寺院の歴史について伺い、貴重な薬師如来像を拝観しました。



・丹下砦の一部であった地に整備された弥生の丘では、鳴海歴史倶楽部の岩田さんから、桶狭間の戦いにおける信長の進軍行路、(清州城～熱田神宮～丹下砦～善照寺砦～中島砦～桶狭間)について、熱く語っていただきました。ここから、鳴海城、善照寺砦を眺めると、戦国時代の郷土の歴史が、より具体的に身近なものとして感じられました。





2026年5月

活動のお知らせ

近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

郷土の歴史を楽しむ会

R8年5月度定例会「鳴海3砦を馳せて～園龍寺と弥生の丘」

令和8年5月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“^わ輪・^わ和・^わ笑”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日 時 : 令和8年5月12日(火) 9:30~14:00

☆集 合 : **みどり市民病院玄関前ポスト付近 9:30**



☆行 程 : 緑市民病院前 ~ 善照寺砦跡 ~ 園龍寺 ~ 市バス移動 ~ 浦里2丁目
~ 丹下砦跡 ~ 弥生の丘 ~ 市バス移動 ~ 緑市民病院(11:42着)
~ ランチ: サガミ潮見が丘店 ~ 13:30頃 解散

※費用 : 資料代 100円
園龍寺 拝観料(賽銭 一人 100~200円)

・ 参加入力締め切り : R8年5月7日(ランチ予約のため)

